

「新・せとうち田園都市創造計画」の変更について（概要）

1 経緯

「新・せとうち田園都市創造計画」（平成 28 年度～平成 32 年度）は、県政運営の基本指針として、平成 27 年 11 月定例県議会で議決をいただき策定した。

本計画に掲げる指標について、状況の変化を踏まえた点検を行った結果、次の指標を見直すこととし、計画を変更する。

2 変更内容

指標 37 外国人延宿泊者数

〔施策体系〕

分野 5 交流人口の拡大（施策 17 観光かがわの推進）

分野 16 活力ある地域づくり（施策 51 国際化の推進）

〔見直し内容〕

	策定時	目標値	目標値の設定根拠
変更前	124 千人 (H26 年)	243 千人 (H32 年)	政府目標である「訪日外国人数 2013 年 1036 万人⇒2030 年 (H42) 3000 万人」の伸び率を上回る宿泊者数の増加をめざす。

H27 年実績値：169 千人

国の新たな観光ビジョン「明日の日本を支える観光ビジョン」（平成 28 年 3 月策定）において、「地方部での外国人延宿泊者数」の目標値が設定されたことや、本県のインバウンドの現状や伸び率を踏まえ、目標値を上方修正する。

また、変更前は従業者 10 人以上の宿泊施設の数値により目標を設定していたが、より実態を反映させるため、すべての宿泊施設の数値に改める。⇒H27 年実績値：210 千人

	策定時	目標値	目標値の設定根拠
変更後	143 千人 (H26 年)	588 千人 (H32 年)	国の新たな観光ビジョンにおける目標「地方部での外国人延宿泊者数」の伸び率(2015 年 2,514 万人⇒2020 年 7,000 万人)を踏まえ、H27 年実績の 2.8 倍をめざす。

指標 36 延宿泊者数

〔施策体系〕

分野 5 交流人口の拡大（施策 17 観光かがわの推進）

〔見直し内容〕

	策定時	目標値	目標値の設定根拠
変更前	3,463 千人 (H26 年)	4,100 千人 (H32 年)	定住人口の減少に伴う経済損失を、交流人口の増加により一定補うという観点や、滞在型観光を推進する観点も考慮し、平成 26 年から年ごとに 2.9%の増加をめざす。



H27 年実績値：4,077 千人

「指標 37 外国人延宿泊者数」の見直しにあわせ、改めて今後の伸びを推計し、目標値を修正する。

	策定時	目標値	目標値の設定根拠
変更後	3,463 千人 (H26 年)	4,133 千人 (H32 年)	定住人口の減少に伴う経済損失を、交流人口の増加により一定補うという観点や、滞在型観光を推進する観点を考慮し、日本人については平成 26 年から年ごとに 1.1%の増加を、外国人については H27 実績の 2.8 倍への増加をめざす。

「新・せとうち田園都市創造計画」の変更について

香 川 県

1 現計画策定年月

平成 27 年 12 月（計画期間：5 年）

2 変更年月

平成 29 年 3 月

3 変更の理由

新・せとうち田園都市創造計画は、平成 27 年度に策定され、平成 28 年度から平成 32 年度までの 5 年間を計画期間としているが、本計画に掲げる指標について、状況の変化を踏まえた点検を行った結果、見直しを行うこととし、計画を変更するものである。

5 変更内容

指標番号 36「延宿泊者数」及び 37「外国人延宿泊者数」について、目標値等の変更を行う。

変更前

プラン編

第6章 施策体系(施策の総合的展開)

分野5 交流人口の拡大

指標

指標番号	指標	現状 (H26年度)	目標値 (H32年度)	指標の概要	目標値の設定根拠
36	延宿泊者数	3,463 千人 (H26年)	<u>4,100 千人</u> (H32年)	交流人口の状況を示す延宿泊者数を把握	<u>定住人口の減少に伴う経済損失を、交流人口の増加により一定補うという観点や、滞在型観光を推進する観点も考慮し、平成26年から年ごとに2.9%の増加をめざす。</u>
37 *	外国人延宿泊者数	<u>124 千人</u> (H26年)	<u>243 千人</u> (H32年)	インバウンドの状況を示す外国人延宿泊者数を把握	<u>政府目標である「訪日外国人数2013年1036万人⇒2030年(H42)3000万人」の伸び率を上回る宿泊者数の増加をめざす。</u>

指標番号欄の*印は、再掲指標

分野16 活力ある地域づくり

指標

指標番号	指標	現状 (H26年度)	目標値 (H32年度)	指標の概要	目標値の設定根拠
37 *	外国人延宿泊者数	<u>124 千人</u> (H26年)	<u>243 千人</u> (H32年)	インバウンドの状況を示す外国人延宿泊者数を把握	<u>政府目標である「訪日外国人数2013年1036万人⇒2030年(H42)3000万人」の伸び率を上回る宿泊者数の増加をめざす。</u>

指標番号欄の*印は、再掲指標

変更後

プラン編

第6章 施策体系(施策の総合的展開)

分野5 交流人口の拡大

指標

指標番号	指標	現状 (H26年度)	目標値 (H32年度)	指標の概要	目標値の設定根拠
36	延宿泊者数	3,463 千人 (H26年)	<u>4,133 千人</u> (H32年)	交流人口の状況を示す延宿泊者数を把握	<u>定住人口の減少に伴う経済損失を、交流人口の増加により一定補うという観点や、滞在型観光を推進する観点を考慮し、日本人については平成26年から年ごとに1.1%の増加を、外国人についてはH27実績の2.8倍への増加をめざす。</u>
37 *	外国人延宿泊者数	<u>143 千人</u> (H26年)	<u>588 千人</u> (H32年)	インバウンドの状況を示す外国人延宿泊者数を把握	<u>国の新たな観光ビジョンにおける目標「地方部での外国人延宿泊者数」の伸び率(2015年2,514万人→2020年7,000万人)を踏まえ、H27年実績の2.8倍をめざす。</u>

指標番号欄の*印は、再掲指標

分野16 活力ある地域づくり

指標

指標番号	指標	現状 (H26年度)	目標値 (H32年度)	指標の概要	目標値の設定根拠
37 *	外国人延宿泊者数	<u>143 千人</u> (H26年)	<u>588 千人</u> (H32年)	インバウンドの状況を示す外国人延宿泊者数を把握	<u>国の新たな観光ビジョンにおける目標「地方部での外国人延宿泊者数」の伸び率(2015年2,514万人→2020年7,000万人)を踏まえ、H27年実績の2.8倍をめざす。</u>

指標番号欄の*印は、再掲指標